



ヴィータ

くまもとの家庭教育

文責：社会教育課
課長 三浦 幸輔

○「読書バリアフリー」とは？

「読書バリアフリー」とは、障がいの有無にかかわらず、全ての人々が等しく自分に合った方法で読書ができる社会の実現を目指すものです。

「読む」トビラを、すべてのひとへ!



熊本県では、令和8年3月に「第二期 熊本県読書バリアフリー推進計画」を策定しました。県では次のような事業を進めていきます。

【誰でも読める形式の本を増やす取り組み】

点字図書、拡大図書、音声読み上げ対応の電子書籍、デジタール図書などの作成・活用

【安心して読書できる場所づくり】

図書館での拡大鏡・読書支援機器の設置、職員研修、障がいのある人が利用しやすいサービスの拡充など

★熊本県立図書館では、専用の機器を使った、音声を聞いて読書が楽しめる読書バリアフリーサービスや拡大図書（大活字本）の閲覧、貸出などのサービスを提供しています。

※サービス利用の際には、別途登録が必要となる場合があります。詳しくは、県立図書館にお問い合わせください。

読書バリアフリーサービス等の
図書館利用に関すること
【熊本県立図書館】
TEL:096-384-5000



【県立図書館HP】



【読書バリアフリーについて】



○子どもの気持ちと親の関わり

4月25日（土）に宇城市の豊野保育園で親の学び講座を開催しました。保育参観後の講座ということもあり多くの保護者の方に参加していただきました。



【「自分だったら」を考え、意見を
を出し合っている様子】

この日のテーマは、「子どもの気持ちと親の関わり」です。保護者の方からは「忙しさの中で、子どもの話を聞いているけど、顔を見ていないときがある。」「ついつい自分（保護者）が先に話してしまうので、注意するときに子どもに話を聞いて話すようにしている。」などの意見が出され、子どもとの関わり方を考えるよい機会になったようでした。

「普段話さない方と話ができてよかった。」「他の人の意見がととても勉強になった。」など保護者同士がつながる機会の必要性を改めて感じました。これからも、つながる機会づくりや子育てに関する適切な情報の提供に努めていきます。（原稿作成：宇城教育事務所）

講座で発見！ 子育て「キーワード」

「話を聞く」「いっしょに遊ぶ」「笑顔」「スキンシップ」がポイント！！

【お問合せ】熊本県市町村教育局社会教育課 家庭教育支援班

TEL：096-333-2697

E-mail：shakai kyoui ku@pref.kunano.to.lg.jp